

ファンドの価値観～Common Values(コモン バリュース)～ 今日より良い明日を育む長期投資

今月のコモンズレター主な内容

- P2 運用状況をチェック!
- P3 コモンズ30ファンドのポートフォリオはこちらをご覧ください
- P4 企業との対話、SEEDCap情報等、コモンズの活動はこちらをご覧ください

みなさま、こんにちは。渋澤健です。
季節の節目で、私のように花粉症に悩まされている方々がかかなり多いのではないのでしょうか。くれぐれもご自愛くださいませ。

さて、先日、「健康経営銘柄」の基準検討委員会に出席しました。これは、経済産業省と東京証券取引所が共同で、従業員の健康管理を経営戦略として実践している優良企業を選定して公表する取り組みです。

我々委員の役目は健康経営銘柄の選考ではなく、企業へ送付するアンケートの内容を精査して討議することです。

①経営理念・方針、②組織体制、③制度・施策実行、④評価・改善、⑤法令順守・リスクマネジメントという五つの側面から構成されている調査です。

私は初回の委員会から、従業員の健康保持・増進に関連する「費用」という単年度思考ではなく、企業の持続的な価値創造に不可欠な人材への「長期投資」と捉えるべきであると唱えていました。

心身とも健康で前向きな従業員が少ない企業が、持続的な価値を創造して未来を拓ける可能性は極めて乏しいですから。

2月下旬に発表された「健康経営銘柄2017」は今回で3回目になりました。今年は「働き方改革」流れが顕著だけに、企業の意識が高まっている姿勢を感じます。3年前の2015年度の調査から比べると、特に経営トップによるコミットメントが高まっていて、従業員の健康保持・増進に関する管理職への教育を制度化する企業も増えています。また、健康経営の

渋澤と伊井の「今月の想い」

プロセスや成果について社外へ情報開示している、投資家と対話する意識が特に上位の企業では高まっている傾向がありました。

今回公表された「健康経営銘柄2017」の24社の内、コモンズ30ファンドの投資先ではリンナイ、味の素とデンソーが選ばれており、長期投資家として喜ばしいことです。

また、経済産業省は健康経営優良法人2017認定法人「ホワイト500」も発表しており、先ほどの3社に加え、シスメックス、資生堂、セブン&アイ・ホールディングス、ディスコ、日立製作所、堀場製作所も健康経営の優良法人としてランクインしています。

コモンズ30ファンド投資先企業の3分の1が「健康経営銘柄」「ホワイト500」に選定されたことは素晴らしいです。

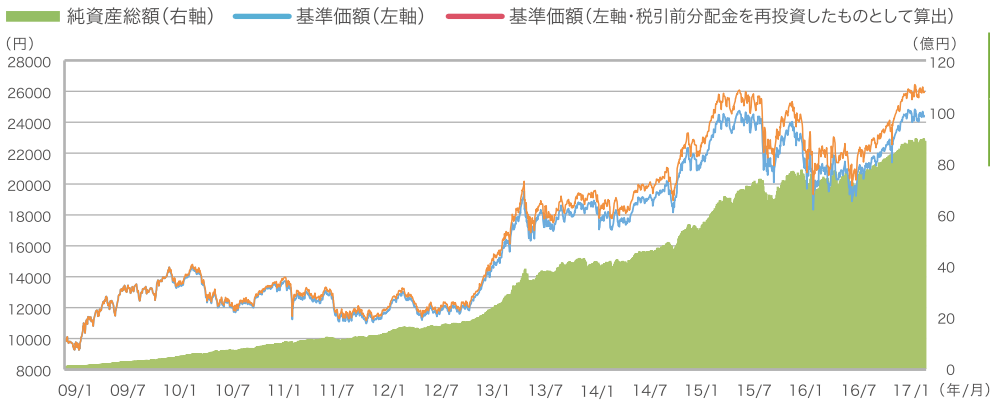
今後は、投資先30社のほとんどが入ることを促す対話に取り組みます!



コモンズ投信株式会社
取締役会長
渋澤 健

※隔月で伊井、渋澤が執筆いたします。

■ 基準価額の推移



■ ファンドのデータ

(2017年2月28日付)

基準価額	24,505円
純資産総額	8,931百万円

※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
 ※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述の「コモンズ30ファンドの費用」をご覧ください)。
 ※当ファンドの信託報酬率は、ファンドの純資産総額の一定の増加により遞減する仕組みとなっており、当レポート作成基準日現在、年率1.242%(消費税込)です。
 ※「基準価額の騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。

■ 基準価額(税引前分配金を再投資したものととして算出)の騰落率

(2017年2月28日付)

過去1ヶ月間	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	設定来
0.06%	4.65%	13.89%	23.83%	38.65%	104.37%	160.90%

※「基準価額の騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。

■ 分配実績

第4期 (2013年1月18日)	第5期 (2014年1月20日)	第6期 (2015年1月19日)	第7期 (2016年1月18日)	第8期 (2017年1月18日)	設定来累計
200円	200円	220円	0円	240円	1,110円

■ 運用状況

◎運用レビュー

2月のファンドの月間リターンは0.06%の上昇となりました。

◎2月の個別銘柄リターン

銘柄別の月間リターン上位3銘柄は、「ディスコ(+16.97%)」、「ヤマトHD(+7.68%)」、「日東電工(+5.78%)」となりました。ディスコは、2017年3月期の営業利益計画が減益から一転して増益となり、市場コンセンサス予想を1割ほど上回ることも好感されました。ヤマトHDは、宅配総量抑制へ向け労使で交渉していることが報じられ注目されました。人手不足解消や大口顧客に対する料金値上げで利益率改善が期待されます。日東電工は、2017年3月期営業利益計画を上方修正、減益幅が縮小することがプラス材料となりました。

一方、下位3銘柄は、「カカコム(▲20.65%)」、「資生堂(▲6.43%)」、「リンナイ(▲5.63%)」となりました。カカコムは、購買支援サイト「価格.com」の不振による利益成長力の鈍化が嫌気されました。資生堂は、2017年12月期の営業利益計画が前期比24%増になると発表。増益ながら市場コンセンサス予想を1割ほど下回り失望売りとなりました。リンナイは、国内収益の悪化で、2017年3月期の営業利益計画を増益から一転して減益に下方修正したことが悪材料となりました。

○運用責任者メッセージ

2月の内外金融市場は、引き続き米国トランプ新政権の一手一投足に注目が集まりました。米国の代表的な株式指数のS&P500は、年初より前日比で1%以上下落する日が一日もない珍しい状況が続いています。景気循環が好転してきていることに加え、30年ぶりの「驚異的な」税制改革への期待が相場の好調さを支えています。一方、米国株との相関がやや薄れている国内株式市場は、ドル円の値の上値の重たさなどから出遅れている状況に見えます。

2月は、2017年3月期決算企業の第3四半期の決算発表がありました。当ファンドにおきましては、好調な半導体関連企業がパフォーマンスに貢献、一方で市場の期待に届かなかったカカコム、リンナイなどが下落しました。また、ヤマトHDの宅配便の見直しや、楽天の自社株買いの発表は、個別材料に反応する形で株価の上昇要因となりました。事業環境の変化に対して、積極的に対応する企業も増えてきました。どうぞ、引き続き、ご期待ください。

最高運用責任者 伊井 哲朗

◎投資委員会メンバー

○伊井哲朗、渋谷健、糸島孝俊、鎌田聡、上野武昭、末山仁 / ○は最高運用責任者

●組入比率と組入銘柄に関しては、マザーファンドについての記載となります。

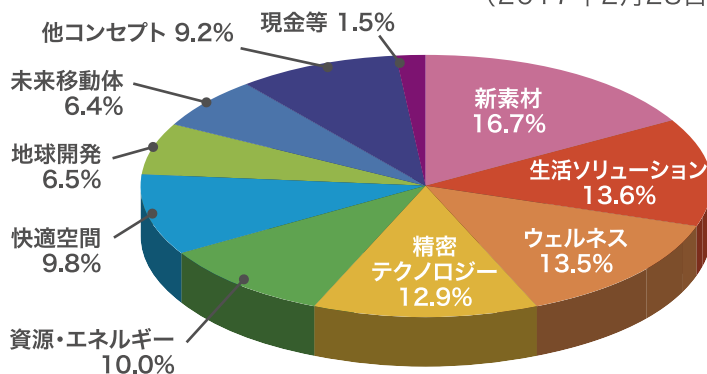
ポートフォリオの構成比

	当月末	前月末比
株式	98.5%	▲0.1%
現金等	1.5%	0.1%
構成銘柄	30社	±0社

●ポートフォリオの構成比と未来コンセプト別構成比に関しては、マザーファンドについての記載となります。

未来コンセプト別構成比

(2017年2月28日付)



組入上位10銘柄

(2017年2月28日付)

コード	銘柄名	未来コンセプト	概要
6988	日東電工	新素材	柔軟変化し、持続成長が続くグローバルエリアニッチトップ
6146	ディスコ	精密テクノロジー	kiru, kezuru, migaku、世界を代表する精密加工装置メーカー
8035	東京エレクトロン	精密テクノロジー	創業時のエネルギーが、脈々と続く「革新」を続ける会社
4063	信越化学工業	新素材	戦略的なポジショニングに優れ、素材メーカー随一の収益性
6856	堀場製作所	精密テクノロジー	「おもしろおかしく」、時代に合わせて領域を拡大
3407	旭化成	新素材	化学繊維事業から医薬・エレクトロニクス事業へ事業転換を続ける伝統企業
6301	コマツ	地球開発	世界のインフラを作る日本のモノづくり力&IT力
6586	マキタ	快適空間	環境、安全、安心に優れ、世界のプロに選ばれる
2802	味の素	ウェルネス	「食・健康・いのち」の“UMAMI”で世界の食品トップ10を狙う
6326	クボタ	地球開発	日本で培った競争力で、アジアの食糧問題に寄与

◎未来コンセプトとは 当ファンドが独自に行っている業種分類です。以下のように10種類に分類を行っております。

「資源・エネルギー」「新素材」「精密テクノロジー」「ウェルネス」「生活ソリューション」「社会インフラ」「未来移動体」「快適空間」「地球開発」「ライフサイクル」

新規組入投資先

なし

今月のピックアップ!

2月はカカクコム株の株価が20.65%と大幅に下落しました。業績見通しの下方修正および、市場コンセンサス予想(各社アナリストによる業績予想の平均)を下回ったことが悪材料となりました。

2017年3月期第3四半期決算(10~12月)は、売上高で前年同期比8%増、営業利益で同6%増。第4四半期(1~3月)の会社計画は、同2%増収、同4%営業減益と成長鈍化が顕著となり、上場来年間で2ケタ以上の増収増益を続けてきた成長力に変化が出てきています。主因は、購買支援サイト「価格.com」の不振。テレビやパソコンなど家電製品の販売低迷を背景に、ショッピング業務(掲載店舗からクリック数や販売実績に応じた手数料収入を得る)や広告(バナー、コンテンツ・検索連動型広告など)販売が落ち込んでいます。一方、飲食店情報サイト「食べログ」の課金飲食店数、月間利用者数は順調ですが、「価格.com」の不振を補い、連結全体として、高い成長軌道に戻していくまでには至っていません。

運用部・シニアアナリスト 上野 武昭

企業との対話

【コモンズ30塾】統合レポートを読み解く『味の素』&『丸井グループ』

「ウェブサイトにおける企業の迅速な情報開示の姿勢が一般的になってきた昨今、統合レポートの重要性は情報開示にあるのではなく、企業のストーリーをひとつにまとめるというその作業自体にある。」

これは2月13日東京で開催したコモンズ30塾の冒頭でコモンズ投信会長渋谷が語った言葉です。アニュアルレポートが事業報告であるのに対して、統合レポートは企業の経済的価値創造と社会的価値創造の両面をひとつのストーリーにする手段。当ワークショップの目的は、企業は読み手となる一般個人の方々にその企業のストーリーをしっかりと伝えること、そしてコモンズは、(お客様の声を)直接企業にフィードバック出来る有意義な対話の場にすることです。

今回の登壇者は、投資先企業の一社、味の素株式会社より川崎嘉治氏(グローバルコミュニケーション部 企画グループ)と、ユニークな統合レポートで注目されている株式会社丸井グループより加藤浩嗣氏(経営企画部 IR部)。

川崎氏は、同社のASV(味の素シェアバリュー)というキーワードを軸とした社会価値と経済価値の両立というミッションや、同社が何を目指しどうありたいのかを統合レポートが伝えることができているか、のリアクションを今回の参加者に期待。そして加藤氏は、同社の統合レポートの作成が社長を中心とした社内全体のプロジェクトであったことや、多くの人々に読んでもらうための説明会を重ねてきたこと、そして同社は統合レポートを社員全員に配るなど、企業の価値創造を社員と顧客と投資家と共創する姿勢を説明されました。

ワークショップの中では参加者が6人1組となってグループをつくり、2社の統合レポートを読み進めました。「経営の軸である理念が非常に丁寧に説明されていたのが印象的。何を捨てて何を訴えたいのか、明確な取捨選択が読みやすさに繋がっていると思う」「ESGもどう企業価値に働くのか、企業利益とのシンクロがどうなっているのかがサンプルだけでも伝わってきた」。これは味の素の統合レポートに寄せられた参加者の声です。「読んでもらえるレポートを目指して今までの概念を変えていきたいという努力が伝わってきた」「経営者だけでなく、社員の目線で構成されている点がすばらしい。会社の理念などをしっかり社員に浸透させる努力をそれだけしているということで、今後経営を担っていく次世代がそれだけ育っているということ。長期的持続性のある企業だと感じる事ができた」。こちらは丸井に寄せられた声。そして賛辞だけでなく、「目次がわかりにくかった」「誰にどんな行動をとって欲しいのかわかりにくい」「ボリュームが多すぎる」など、よりよいレポート作成に期待する様々な声も集まりました。企業と投資家が共に価値創造を行うチャレンジをこれからも続けていきたいと思えます。



味の素株式会社 川崎嘉治氏



株式会社丸井グループ 加藤浩嗣氏

マーケティング部 馬越 裕子

SEEDCap 今年度応援先についてのお知らせ

★第8期運用報告書(交付版)にメッセージ掲載(14ページ)

<http://www.common30.jp/fund30/pdf/pdf-id-8.pdf>

虐待や貧困などで頼る大人が周りにいない子どもたちに、学習支援や相談窓口を設置、適切な支援機関への橋渡しなどを行っているNPO法人 3keys(スリーキーズ)。同団体の代表理事森山菅恵さんからSEEDCapを受賞しての想いが届きました。また、3月11日の周年イベントでは森山さんのお話を直接お聞きいただけます。

★「Mex(ミークス)・全国版」掲載サービス募集開始。

昨年3keysが開始した子どもたちのためのポータルサイト「Mex(ミークス)・東京版」。子ども向けに支援を提供している団体を、子どもたち自身が検索しやすく、予約や相談までできるポータルサイトで、開設約半年で利用者は3万人を超え、掲載されている支援サービスにつながった数は1000件以上。今年6月の全国版スタートに向け、子どもたちへ支援サービスを提供している全国の団体からの掲載申請の募集を開始しました。

http://3keys.jp/cat_other/170301/



*東京版サイトイメージ
(<https://me-x.jp/>)

SEEDCap担当 馬越 裕子

お客さまの声

セミナー参加者からいただいたお声を紹介します。

参加セミナー：コモンズ30塾統合レポートを読み解く『味の素』&丸井グループ

お客さま
20代・女性

異業種の方とディスカッションできたことが魅力的でした。大きな学びとなりました。

企業も個人の方の意見を聞きたいんだな、ということに改めて気付かされた。そういう企業こそ、投資先として魅力的である。

お客さま
40代・男性

参加セミナー：こどもトラストセミナー「隈研吾さんのつみきで街をつくらう！」

お客さま
親御さん

(こどもが)通常あまり興味をもっていないことでも「入口」が「体験」であることによって全然違う入り方が出来るんだなあと思いました。
親同士で話し合いをしたお金の付き合い方について他の保護者の皆さんと話げできたことが参考になりました。

Pick up! セミナー

最新のセミナー情報はコモンズ投信ウェブサイトの「セミナー情報」をご覧ください。

<http://www.common30.jp/seminar/>

セミナー名	日付	時間	場所
渋谷健が語る「よりよい明日のためのお金の使い方」 ～今こそ、つみたて投資～	3月19日(日)	14:00～16:00	東京都千代田区(コモンズオフィス)
「普通の人」のための資産づくりのポイント (ファンド説明会)	3月22日(水)	19:00～21:00	東京都千代田区(コモンズオフィス)
【福岡】「コモンズ30ファンド」ファンド説明&運用報告会	4月15日(土)	16:30～18:00	福岡県博多区(AQUA博多)
【大阪】「コモンズ30ファンド」ファンド説明&運用報告会	4月22日(土)	16:00～17:30	大阪府大阪市(AP大阪淀屋橋)

お知らせ

◎開催迫る!

コモンズ投信8周年イベントは3月11日(土)!

基調講演にはユニ・チャームの高原社長がご登壇されます。その他、投資先企業から東レ・日東電工、今年度SEEDCqp応援先、3keys(スリーキーズ)代表理事森山誉恵さんや、POINT応援先の視覚障害者柔道連盟にもご登壇いただきます。

The 8th Commons Dialog

～共に創る“対話”の時間～

コモンズ投信8周年イベント

日時：3月11日(土)
10:30～17:30(受付開始 10:00)

会場：コンgresクエア中野
(B1Fコンベンションホール)

コモンズ投信 8周年



販売会社一覧

販売会社名称		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	日本商品先物取引協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
ソニー銀行(株)	登録金融機関	関東財務局長 (登金)第578号	○	○			
PWM日本証券(株)	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第50号	○				
楽天証券(株)	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第195号	○	○	○	○	○
マネックス証券(株)	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第165号	○	○	○		
(株)SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第44号	○	○		○	
(株)秋田銀行	登録金融機関	東北財務局長 (登金)第2号	○				
(株)足利銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金)第43号	○	○			
(株)栃木銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金)第57号	○				
(株)横浜銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金)第36号	○	○			
(株)イオン銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金)第633号	○				
(株)北海道銀行	登録金融機関	北海道財務局長 (登金)第1号	○	○			
エース証券(株)	金融商品取引業者	近畿財務局長 (金商)第6号	○				

■R&Iファンド大賞について
 「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。「投資信託/総合部門」の各カテゴリーは、受賞運用会社の該当ファンドの平均的な運用実績を評価したもので、受賞運用会社の全ての個別ファンドについて運用実績が優れていることを示すものではありません。

■R&Iファンド大賞2015の概要について
 「投資信託」および「投資信託/総合部門」は確定拠出年金専用ファンドを除く国内籍公募追加型株式投資、「確定拠出年金」は確定拠出年金向けに利用される国内籍公募追加型株式投資、「NISA」はNISA(少額投資非課税制度)向けに利用される国内籍公募追加型株式投資、「確定給付年金」は「R&I ユニバーステータサービス」に登録されているファンド、を対象にしており、いずれも基本的にR&Iによる分類をベースとしている。選考は、「投資信託」、「確定拠出年金」、「NISA」、「確定給付年金」では2013、2014、2015年それぞれの3月末時点における1年間の運用実績データを用いた定量評価がいずれも上位75%に入っているファンドに関して、2015年3月末における3年間の定量評価によるランキングに基づいて表彰している。定量評価は、「投資信託」、「確定拠出年金」、「NISA」では「シャープ・レシオ」を採用、表彰対象は設定から3年以上かつ償還予定日まで1年以上の期間を有し、「投資信託」及び「NISA」では残高が30億円以上かつカテゴリー内で上位50%以上、「確定拠出年金」では残高が10億円以上かつカテゴリー内で上位75%以上、「NISA」では2015年3月末における過去3年間の月次収益率の標準偏差(年率)が30%以下の条件を満たすファンドとしている。「確定給付年金」では定量評価に「インフォメーション・レシオ」を採用している。なお、「投資信託」、「確定拠出年金」、「NISA」では上位1ファンドを「最優秀ファンド賞」、次位2ファンド程度を「優秀ファンド賞」として表彰している。「確定給付年金」では受賞区分を設けていない。「投資信託/総合部門」では、2015年3月末において残高30億円以上のファンドを3本以上設定する運用会社を表彰対象とし、各ファンドの3年間の「シャープ・レシオ」の残高加重平均値によるランキングに基づき、上位1社を「最優秀賞」、次位1社を「優秀賞」として表彰している。詳細はR&Iのウェブサイト(http://www.r-i.co.jp/jpn/ie/itr/fund_award/)をご覧ください。

コモンズ30ファンドの費用について

購入時手数料	販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。 なお、販売会社における購入申込手数料率は3.24%(消費税込)が上限となっております。
換金手数料	ありません。
運用管理費(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.242%(消費税込)を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逡減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用 手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額の0.108%(消費税込)を上限として投資信託財産より控除されます。

※上記の手数料(費用)等の合計額については、運用状況、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

コモンズ30ファンドのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま(受益者)に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※リスクの要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

お申込みメモ

信託設定日	2009年1月19日
信託期間	無期限(ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。)
分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。 よって、分配金は税金が差し引かれた後、自動的に再投資されます。 なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価格	購入申込日の翌営業日の基準価額
換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
換金代金の支払い開始日	換金申込日から起算して5営業日目
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込は、翌営業日のお申込みとして取扱います。

○当資料は金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。○投資信託は設定・運用を投資信託会社が行う商品です。

◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。◆投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。

金融商品取引業者
関東財務局長(金商)第2061号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
コモンズ投信株式会社
〒102-0093
東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階

委託会社お問い合わせ先

■コールセンター (受付時間/平日 9時~17時)
03-3221-8730

■ウェブサイト
<http://www.common30.jp/>